



ちょっと拝見

ふるさと創生1億円の使いみち

全国の市町村のふるさと創生1億円の使いみちで、ユニークなものを紹介します。

県内

温泉発削とリゾート開発計画（小千谷市）

4千万円で温泉源の整備とリゾート開発計画を策定。民間活力を導入し、温泉、スキー場、ゴルフ場などを併せた一体的なリゾートを開発。

ブナ等樹林保護育成基金（高柳町）

町内約60%の民有のブナ林の購入のため、2千万円を基金に積み立て。開発に歯止めをかけるため、失われつつあるブナ林を後世に伝えていくのがねらい。

堆肥センター（仮称）建設を構想（笹神村）

総事業費2億円で堆肥センターを建設。農業環境の整備のため、有機肥料を確保し「有機の里づくり」を推進。

県外

イベントに合わせエアドーム購入（福井県今立町）

エアドーム建設費用に2千万円を使用。特産品などを販売するイベント会場に建設。イベント終了後も保管が可能で、次のイベントに使用。

第3セクター村おこし会社設立（秋田県大雄村）

農協などの参加を得て、官民一体となった村おこしに取り組もうというもの。新しい農産物の開発、消費地と直結するフライト農業の研究。

米国コンピュータ先進校と提携（富山県福野町）

小中学校のコンピュータ教育を推進。パソコンのプログラム研究開発、米IBM社への教職員の派遣、米コンピュータ先進校の姉妹校提携。

ブライトタウン事業（鹿兒島市）

市内をライトアップして魅力ある街並みづくりを行おうというもの。同事業は都市計画事業として行われていたもので、夜の街並みの魅力の創出、生活道路の街路灯や防犯灯の設置などを計画。

若者が集うまちづくり（秋田県角館町）

若者が集うまちづくりを目指し「デートエリア計画」を策定。

人材育成基金の設立（岡山県津山市）

「人づくり条例」を策定し、人材育成基金を創設。2億円を積み立て、農工商あらゆる人を対象に技術修得などに使用。

- ある温泉地に保養所を造る
- (コミュニティ)
 - コミュニティー基金の創設
益金を住民自身の手作りによるコミュニティ活動に助成する。
 - 大通地域生活センターの建設
 - その他
 - (自然保護)
 - はぎ木のある田園風景の保存
倉敷の美観区域や中之口の並木道のように「風景の保存」に取り組む。
- 12件

- 情報伝達施設の整備
- (その他)
 - 白根市へようこそ看板の設置
白根市入り口に、白根をシンボリ化した看板を建てる。
 - タイムカプセル
市民からカプセルに入れる作品を募集し、五〇周年または一〇〇周年の際開ける。
 - 家庭菜園の整備
農家が畑を提供し、非農家の人に家庭菜園として貸し付ける。
 - 大クイズ大会の開催
地区対抗、年齢別対抗などで市制三〇周年記念大クイズ大会を開く。

- 風合戦切手の発売
市民と市役所の郵便物にはり、文化基金の創設、美術品の購入、図書館の新築、県民会館規模のホールの建設など文化レベルの向上を図る。
- 碑の建立
碑を建て先人の遺風を顕彰する。
 - 美術展の開催
カルチャーセンターのアリーナを使い県展巡回展や中央の美術展などを開催。
 - 文化講演会基金の創設
各地区年一回の回り順とする文化講演会を開催する。
 - 芸術・文化・スポーツ育成基金の創設
少年の国際交流や講演会・コンサート・講習会・遠征費などに充てる。
 - 白根大風太鼓（関連アイデアを含め三件）
子どもから大人まで勇壮な太鼓チームをつくり、観光PRや国際交流を進める。
- (スポーツ)
- アイススケート場の建設
 - 室内プールの建設

▼応募アイデアの審査
六月一日、ふるさと創生アイデア審査委員会（猪股武雄会長・委員六人）が発足し、八十一作品の審査に当たっています。（本紙七月一日号参照）
審査会は、すでに三回の会議を開催。優秀作品を数点選び、市長に報告することにし、現在、選考作業は大詰めを迎えています。

教育・文化 スポーツ振興

26件

- (教育)
- 図書館の建設
 - 農林水産大学の誘致
 - 小中学校へのパソコン導入
高度情報化社会に対応した世代を育成。
 - 高校・大学生の奨学資金
 - 中学・高校生の海外交流
 - 未来の私への手紙
小学二～三年生のときに、未来の自分への手紙を書いてもらい、中学三年のときに本人に郵送、進路決定の一助とする。
 - フライト基金の創設
高校生を夏の甲子園球場に売り

- (文化)
- 郷土資料館、風資料館、白根ふるさと館の建設（関連アイデアを含め三件）
大風、白根伝説、白根絞りを展示・上演する資料館を建設する。
 - 治水資料館の建設
治水の歴史を後世に伝える資料館を設置する。
 - 千野茂美術館の建設
新飯田出身で日本彫刻会の重鎮の千野氏の作品を展示する美術館を建設する。
 - 旧配水塔を展望台に整備
白根庭園、水道公園と連携した一大文化ゾーンをつくり、千野茂美術館や市美術館を建設する。
 - 彫刻の森の建設
県内外の彫刻家のブロンズ像を市民の森に設置、併せて千野茂美術館を建設。
 - たてまえてない「文化とうるおいのあるまち」づくり
白根総合公園の全施設早期完成のため、ふるさと創生一億円を使う。

- (福祉)
- 一人暮らし用老人ホームの建設
 - 保養地「別天地しろね」の建設
市内から四〇～五〇キロの中に

福祉・コミュニティー

4件

区分	産業振興			生活・都市環境整備			教育・文化・スポーツ			福祉・コミュニティー			その他	自然保護	通信	その他	合計	
	農業	観光	環境整備	生活	都市	教育	文化	スポーツ	福祉	コミュニティー	その他							
ハード事業	9	5	4	22	3	19	15	3	10	2	3	2	1	5	1	1	3	54
ソフト事業	8	2	6	—	—	—	11	5	6	—	1	—	1	7	—	—	7	27
計	17	7	10	22	3	19	26	8	16	2	4	2	2	12	1	1	10	81

▼応募アイデアの分野別内訳
ハード事業：物品の購入や施設の建設など、形に残るものを行う事業
ソフト事業：人づくりや体制づくりなど、意識の高揚を推進する事業